

事業所名	グループホームあさひ別荘
ユニット名	つる

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「世のため、人のため、入居者、家族、職員の満足度を追求する」の理念の下、思いやりと和の精神をもって実践に努めている。</p>	<p>企業理念を当ホームの運営理念としています。理念の目指す方向を職員はよく理解し介護の実践に活かしています。しかし、グループホームの理念には、独自の且つ地域との関係性の重視が求められています。</p>	<p>法人理念の実現に向け、地域との連携を意識した職員全員による行動指針或は目標を定め、実践される事が期待されます。</p>
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>運営推進会議等を通じて知りえた地域行事へ、積極的に参加するとともに、日課としての散歩時などの挨拶や会話を通して地域の人々との交流をはかっている。</p>	<p>自治会に加入しており運営推進会議を通じて、地域の方々とは交流が深まっています。地元中学校生徒の福祉体験の受け入れ等前向きな取り組みが見られます。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>散歩時、地域の方々との挨拶、交流に努めている。また、グループホーム職員は勤務の行き帰りに挨拶を励行している。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議等を通して、知り得た地域行事へ積極的に参加するとともに、利用者やサービスの実際、評価を話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議は隔月の実施を目標に企画・実施しています。ホームからは行事予定、利用者の生活状況等が報告され、地域委員からは地域とホームとの交流方法の提言や利用者の散歩時の安全対策について助言を頂いています。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者とは、運営推進会議のほか、努めて行き来する機会を作り、各種情報の入手に努め、サービスの質の向上を図っている。</p>	<p>行政が計画する研修会には積極的に参加し関係情報の入手に努めています。21年度には市が主催する3グループホームの相互交流による職員研修にも参加しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	職員には身体拘束をしないケアを実践することを指示するとともに、各種講習会等で得た実際例などをもとに、周知徹底を図っている。	運営の責任者からは職員に対して身体拘束に関する解説がなされ、禁止事項について周知が徹底されています。行政等が主催する研修会への参加者は受講後、ホームのユニット会議にて報告し共有化しています。	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	講習を受ける機会があれば必ず参加し、職員に周知徹底を図り、虐待の防止に努めている。現在見過ごしも含め、事象は生起していない。		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	運営推進会議で出た後見制度についてユニット会議で職員に学ばせるとともに、各種研修会で得た日常生活自立支援事業を紹介し、活用できるようにしている。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約に際しては十分に時間をかけて説明し、実際のホームでの実情を見学してもらい、不安や疑問の払拭に努めている。		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	運営推進会議のほか、家族が来所した際に、努めてホーム長を始め職員との会話の機会を作り、意見や要望を得るように努力している。	利用者の全員について家族との連絡が取れるようになっていきます。面会時にホーム長及び職員は家族との会話を大事にし、家族の声を聞くよう努めています。しかし、家族の声が業務運営に反映した内容は記録がありません。	反映すべき特段の意見や要望は無い模様ですが、内容の軽重は別として「利用者の声」を箱の設置や反映した事項の記録が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度のユニット会議では、運営全般に対する率直な意見や提案を聞く雰囲気を作るよう努力している。	職員の声については毎月1回開催されるホーム長、介護支援専門員が参加する職員とのユニット会議にて意見交換し吸収されています。お正月やクリスマス会等の実施に関する職員の声は前向きに反映されています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ホーム長始め他の職員と接する機会を務めて設け、職員個人個人の職場における実績その他の把握に努め、職場環境・条件の整備に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム長始め他の職員と接する機会を務めて設け、職員個人個人の職場における実績その他力量を把握している。また、努めて法人内外の研修及びOJTによる技量等の向上を図っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同一法人内のグループホームでの日頃からの交流のほか、交換研修を通じてサービスの質の向上を図っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の基本情報をもとに、サービスを開始する際に直接本人と会話をする機会を作り、心と心が交流を通じあい安心を確保するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを始める前に家族のもとを訪ね、環境を把握すると同時に、家族の不安や要望等の実際に耳を傾け、良好な関係作りを図っている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初期対応においては、先ず安全安心を確保した上で、必要とされる最初の支援を見定め、順を追って全体のサービスが行き渡るよう努力をしている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は本人との人間同士の信頼関係を築くことにまず重点を置き、その信頼関係の下で介護を行うよう努力をしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族とは、些細なことから重要（大）なことまで、努めて連絡を取り合い、絆を取り合いながら本人を支える努力を築くよう努力している。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人との会話や来る手紙等から大切な人、大切な場所を知ると同時に、それらとの本人との関係を見守ることで支援を行っている。</p>	<p>常勤職員による居室担当制を定めており、1人で3人の利用者を約3カ月交代で担当しています。日常生活の支援の中で、馴染みの人や場所を把握しています。利用者の希望により外部へ掛ける電話は無料で自由にかける事ができます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係、好き嫌い、趣味、生まれ育ちをよく把握し、それぞれが楽しい会話、関わりが持てる雰囲気をつくり、支え合える支援に努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	例が少ないが、他のホームや病院に移られた方々との必要な接触、相談に応じている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	共同生活の制約の中、暮らし方や意向の把握に努めている。その中でホームで実現可能なもの、家族にお願いするもの、可能な限り本人本位で検討するよう努めている。	常勤職員は担当している3人の利用者について、特に注意を払い意向の把握に努めています。その結果をユニット会議にて共有化し、介護計画に反映しています。ホームで実施する事、家族に依頼する事を本人本位で仕分けし対処しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートや基本情報、加えて入所してからの言動その他から、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの暮らしの把握をふまえ、一人ひとりの日ごとの変化を観察し、現在もっているあらゆる力の状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人家族に加えて介護従事者が本人が、現状に即した、よりよい暮らしを継続するための介護計画を作成している。</p>	<p>把握している利用者・家族の意向を参考にし、常勤者によるユニット会議にて利用者毎に介護方針を見直しています。関係資料として、介護サービス計画書の他、サービス担当者会議の要点、モニタリング表を使用しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の介護の中で、個人記録その他一人ひとりの介護情報を作成、介護者総員が同じ情報を共有し、次の実践については介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>事業所の多機能化には、そのつど対応すべく努力はしているが実績は上がっていない。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の把握に努め、徐々に活用がなされている。しかし、まだ十分に把握活用しているとは言い難く、今後とも活用できるよう努力していきたい。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人のかかりつけの医師がいる場合は、それを尊重する。訪問診療で来る医師を含め、医療情報の適正化を図り、最適の医療が受けられるよう努力をしている。</p>	<p>本人が希望する医師への受診は尊重されており、付き添いは家族対応としています。全員対象の訪問診療は月2回計画されています。この結果により専門性を考慮した最適な医療が受けられるよう配慮しています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>1週間に1度来る看護師とは、日常のかかわりの中で常に連絡を密にして、適切な受診や看護が受けられるよう支援を行っている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>緊急時を含め、入退院をお願いできる協力医療機関とは常に良好な関係を保っている。今まで問題になるような事象はなかった。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所に際して本人、家族との間で重度化や終末期に向けたあり方について、共通の認識を共有する関係作りを行っている。また地域の関係者とは機会を作り、支援をお願いしている。</p>	<p>重度化・終末期における対応指針については同意書を交わしています。現在までに看取りの体験はありませんが、重度化における職員の対応、協力医療機関との連携等看取りに向けた研修や体制が整いつつあります。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急連絡網を作り、利用者の急変や事故発生時に備えている。初期対応の訓練のほか、実際に何度か実践した。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災における組織図や対応表を旭区消防署に提出し承認を受けた。今後、消防の支援を受け訓練を行う予定。また避難場所等について地域との協力体制が築かれている。</p>	<p>緊急連絡体制は構築されており、消防署へも提出し承認されています。今年3月には地域の自治会とも連携し、旭消防署の指導を得て避難訓練を計画しています。</p>	<p>3月の避難訓練については所轄の消防署とも連絡が取れており、演習の成果が期待されます。また、非常時の食料、飲料水等の備蓄する事が期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や育ちをよく理解し、人格を尊重した人間関係のもと、言葉かけ対応に努めている。	職員は利用者との会話を通じて本人の性格や生活歴を把握し、利用者の人格を尊重した支援に努めています。なお、個人情報に関する記録等は施錠できる場所に保管され、担当者が管理しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人が選択できる事項については、問いかけによる希望事項の選択、また、いろいろな事象で他に迷惑や不可能なこと以外の自己決定を尊重している。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの皆の決められた日課のほか、一人ひとりが過ごしたい日々の暮らしを可能な限り支援をするよう努力をしている。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	他の利用者の迷惑や不愉快さを生じない中で、身だしなみやおしゃれを支援し、素敵なのは褒めてあげ、女性らしさ男性らしさをあわせ良いおしゃれ支援を行っている。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な限り、食事の準備、盛り付け配膳、後片付けを願っている。それ以上においしい食事づくりに努め、皆から美味しいねと言われるよう努力をしている。	献立に基づき食材業者より配達された食材を使って、更においしくなるように職員が工夫を凝らして調理しています。お手伝いの出来る利用者は準備から後片付けまで参加しています。敬老の日やお誕生会の日には外食も楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分補給量、排尿排便状況を時間を区切って記録し、一人ひとりの好みの水分補給法を勘案し、一日の必要水分の補給支援を行っている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の自立度や衛生状態に合わせて、毎食後口腔ケアを行っている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者のそれぞれの能力や習慣、自立度に合わせた排泄方法を考え、すべての介護者が共通の認識の下、排泄支援を行っている。	完全自立の利用者は約半数で、残りの半数は介護が必要です。職員は利用者の自尊心や羞恥心に配慮して、各人の特性の把握に努めています。またベッドに鈴をつけるなどの工夫をして、夜間のトイレ行きにも気付くよう対応しています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	訪問診療の医師、看護師とも相談し、その個人に応じたあらゆる手段と最善の方策を組み合わせた便秘の予防に努めている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者一人一人の入浴に対する思いを理解し、それぞれの希望になるべく添えるよう、また衛生面から入る順番、入浴回数を考慮した支援を行っている。	入浴時間は原則として午後1時30分から4時ですが、朝風呂が好きな人には希望に応じています。風呂嫌いな人もいますが、衛生面から週に1回は入浴して貰っています。同性の介助を望む入居者には、要望に添うように配慮しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時の体調を十分に把握するように努力している。その上で休息や安眠して頂けるよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解と確認に、職員すべてが務めており、2週間毎の訪問診療に際しては、薬の効き具合、副作用、症状の変化を医師に報告し、以後の治療、投薬とうに反映してもらっている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の家事、園芸、レクリエーション等の中で、一人一人の能力や経歴を生かした役割が果たせるよう工夫を行っている。また、それにより気分転換を支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人の希望、その時の天候、さらには職員の状況を勘案して、努めて戸外での楽しみを作っている。また家族にもお願いして、家族そろっての食事等の機会を作ってもらっている。	春から秋にかけては、散歩や買い物など、外出を心がけています。外出の際には、他の歩行者や車、自転車の迷惑にならないように配慮しています。寒い時期や悪天候の日には屋内で体操をするなど、運動不足の解消に努めています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人一人一人お金を持つこと、その額が異なることの大切さを理解している。また買物の機会を作り買物の楽しみを作為している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は常識の範囲で時間が許す限り、掛けられるようにしている。手紙は着くたびにお見せし、内容をお聞きする等して明るい話題の提供に努めている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、努めて共同して使用するテレビ、カセットで皆同時に楽しめるように工夫をしている。また、庭と玄関に季節の花を植え皆でも楽しめるようにしている。	共用の居間や廊下は外光が入るように設計され、明るくて気持ちが良い環境です。居間には入居者と職員が共同で製作した飾り物、花や絵画などが掛けています。浴室やトイレも十分な広さがあり、居心地のよい共用空間づくり心掛けています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを置き、気の合った利用者同士が話せる空間を作っている。また、庭と玄関に季節の花を植え、水やりが個人でできるようにしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族やご本人の希望で、生活必需品や絵画、その他仏壇等が持ち込まれ、自分の好きな空間がで、居心地よく暮らされている。	居室の面積は11㎡と6畳以上で、タンスやテレビなどが持ち込まれています。配偶者と死別した入居者が多く、約半数が仏壇を自室に置いています。ベッドは使い勝手の良さから、全員が事業者から貸与されたものを使用しています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人が自分の部屋が分かるように入口に名札や飾りをつけ、夜間歩行に問題がある方にはベッドの角に鈴をつけ、音で職員が駆け付けられるようにしている。		

事業所名	グループホームあさひ別荘
ユニット名	かめ

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「世のため、人のため、入居者、家族、職員の満足度を追求する」の理念の下、思いやりと和の精神をもって実践に努めている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>運営推進会議等を通じて知りえた地域行事へ、積極的に参加するとともに、日課としての散歩時などの挨拶や会話を通して地域の人々との交流をはかっている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>散歩時、地域の方々との挨拶、交流に努めている。また、グループホーム職員は勤務の行き帰りに挨拶を励行している。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議等を通して、知り得た地域行事へ積極的に参加するとともに、利用者やサービスの実際、評価を話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者とは、運営推進会議のほか、努めて行き来する機会を作り、各種情報の入手に努め、サービスの質の向上を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員には身体拘束をしないケアを実践することを指示するとともに、各種講習会等で得た実際例などをもとに、周知徹底を図っている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習を受ける機会があれば必ず参加し、職員に周知徹底を図り、虐待の防止に努めている。現在見過ごしも含め、事象は生起していない。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議で出た後見制度についてユニット会議で職員に学ばせるとともに、各種研修会で得た日常生活自立支援事業を紹介し、活用できるようにしている。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に際しては十分に時間をかけて説明し、実際のホームでの実情を見学してもらい、不安や疑問の払拭に努めている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議のほか、家族が来所した際に、努めてホーム長を始め職員との会話の機会を作り、意見や要望を得るように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度のユニット会議では、運営全般に対する率直な意見や提案を聞く雰囲気を作るよう努力している。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ホーム長始め他の職員と接する機会を務めて設け、職員個人個人の職場における実績その他の把握に努め、職場環境・条件の整備に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム長始め他の職員と接する機会を務めて設け、職員個人個人の職場における実績その他力量を把握している。また、努めて法人内外の研修及びOJTによる技量等の向上を図っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同一法人内のグループホームでの日頃からの交流のほか、交換研修を通じてサービスの質の向上を図っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の基本情報をもとに、サービスを開始する際に直接本人と会話をする機会を作り、心と心が交流を通じあい安心を確保するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを始める前に家族のもとを訪ね、環境を把握すると同時に、家族の不安や要望等の実際に耳を傾け、良好な関係作りを図っている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応においては、先ず安全安心を確保した上で、必要とされる最初の支援を見定め、順を追って全体のサービスが行き渡るよう努力をしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は本人との人間同士の信頼関係を築くことにまず重点を置き、その信頼関係の下で介護を行うよう努力をしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族とは、些細なことから重要（大）なことまで、努めて連絡を取り合い、絆を取り合いながら本人を支える努力を築くよう努力している。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人との会話や来る手紙等から大切な人、大切な場所を知ると同時に、それらとの本人との関係を見守ることで支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係、好き嫌い、趣味、生まれ育ちをよく把握し、それぞれが楽しい会話、関わりが持てる雰囲気をつくり、支え合える支援に努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	例が少ないが、他のホームや病院に移られた方々との必要な接触、相談に応じている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	共同生活の制約の中、暮らし方や意向の把握に努めている。その中でホームで実現可能なもの、家族にお願いするもの、可能な限り本人本位で検討するよう努めている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェイスシートや基本情報、加えて入所してからの言動その他から、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの暮らしの把握をふまえ、一人ひとりの日ごとの変化を観察し、現在もっているあらゆる力の状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人家族に加えて介護従事者が本人が、現状に即した、よりよい暮らしを継続するための介護計画を作成している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の介護の中で、個人記録その他一人ひとりの介護情報を作成、介護者総員が同じ情報を共有し、次の実践については介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>事業所の多機能化には、そのつど対応すべく努力はしているが実績は上がっていない。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の把握に努め、徐々に活用がなされている。しかし、まだ十分に把握活用しているとは言い難く、今後とも活用できるよう努力していきたい。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人のかかりつけの医師がいる場合は、それを尊重する。訪問診療で来る医師を含め、医療情報の適正化を図り、最適の医療が受けられるよう努力をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>1週間に1度来る看護師とは、日常のかかわりの中で常に連絡を密にして、適切な受診や看護が受けられるよう支援を行っている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>緊急時を含め、入退院をお願いできる協力医療機関とは常に良好な関係を保っている。今まで問題になるような事象はなかった。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所に際して本人、家族との間で重度化や終末期に向けたあり方について、共通の認識を共有する関係作りを行っている。また地域の関係者とは機会を作り、支援をお願いしている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急連絡網を作り、利用者の急変や事故発生時に備えている。初期対応の訓練のほか、実際に何度か実践した。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災における組織図や対応表を旭区消防署に提出し承認を受けた。今後、消防の支援を受け訓練を行う予定。また避難場所等について地域との協力体制が築かれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や育ちをよく理解し、人格を尊重した人間関係のもと、言葉かけ対応に努めている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人が選択できる事項については、問いかけによる希望事項の選択、また、いろいろな事象で他に迷惑や不可能なこと以外の自己決定を尊重している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの皆の決められた日課のほか、一人ひとりが過ごしたい日々の暮らしを可能な限り支援をするよう努力をしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	他の利用者の迷惑や不愉快さを生じない中で、身だしなみやおしゃれを支援し、素敵な時は褒めてあげ、女性らしさ男性らしさをあわせ良いおしゃれ支援を行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な限り、食事の準備、盛り付け配膳、後片付けを願っている。それ以上においしい食事づくりに努め、皆から美味しいねと言われるよう努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分補給量、排尿排便状況を時間を区切って記録し、一人ひとりの好みの水分補給法を勘案し、一日の必要水分の補給支援を行っている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の自立度や衛生状態に合わせて、毎食後口腔ケアを行っている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者のそれぞれの能力や習慣、自立度に合わせた排泄方法を考え、すべての介護者が共通の認識の下、排泄支援を行っている。	完全自立の利用者は約半数で、残りの半数は介護が必要です。職員は利用者の自尊心や羞恥心に配慮して、各人の特性の把握に努めています。またベッドに鈴をつけるなどの工夫をして、夜間のトイレ行きにも気付くよう対応しています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	訪問診療の医師、看護師とも相談し、その個人に応じたあらゆる手段と最善の方策を組み合わせた便秘の予防に努めている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者一人一人の入浴に対する思いを理解し、それぞれの希望になるべく添えるよう、また衛生面から入る順番、入浴回数を考慮した支援を行っている。	入浴時間は原則として午後1時30分から4時ですが、朝風呂が好きな人には希望に応じています。風呂嫌いな人もいますが、衛生面から週に1回は入浴して貰っています。同性の援助を望む入居者には、要望に添うように配慮しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時の体調を十分に把握するように努力している。その上で休息や安眠して頂けるよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解と確認に、職員すべてが務めており、2週間毎の訪問診療に際しては、薬の効き具合、副作用、症状の変化を医師に報告し、以後の治療、投薬とうに反映してもらっている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の家事、園芸、レクリエーション等の中で、一人一人の能力や経歴を生かした役割が果たせるよう工夫を行っている。また、それにより気分転換を支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人の希望、その時の天候、さらには職員の状況を勘案して、努めて戸外での楽しみを作っている。また家族にもお願いして、家族そろっての食事等の機会を作ってもらっている。	春から秋にかけては、散歩や買い物など、外出に心がけています。外出の際には、他の歩行者や車、自転車の迷惑にならないように配慮しています。寒い時期や悪天候の日には屋内で体操などをして、運動不足の解消に努めています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人一人一人お金を持つこと、その額が異なることの大切さを理解している。また買物の機会を作り買物の楽しみを作為している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は常識の範囲で時間が許す限り、掛けられるようにしている。手紙は着くたびにお見せし、内容をお聞きする等して明るい話題の提供に努めている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、努めて共同して使用するテレビ、カセットで皆同時に楽しめるように工夫をしている。また、庭と玄関に季節の花を植え皆でも楽しめるようにしている。	共用の居間や廊下は外光が入るように設計され、明るくて気持ちが良い環境です。居間には入居者と職員とが共同で制作した飾り物、花や絵画など掛けています。浴室やトイレも十分な広さがあり、居心地のよい共用空間づくりに心がけています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを置き、気の合った利用者同士が話せる空間を作っている。また、庭と玄関に季節の花を植え、水やりが個人でできるようにしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族やご本人の希望で、生活必需品や絵画、その他仏壇等が持ち込まれ、自分の好きな空間がで、居心地よく暮らされている。	居室の面積は11㎡、6畳以上で、たんすやテレビなどが持ち込まれています。配偶者と死別した入居者が多く、約半数が仏壇を自室に置いています。ベッドは使い勝手の良さから、全員が業者から貸与されたものを使用しています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人が自分の部屋が分かるように入口に名札や飾りをつけ、夜間歩行に問題がある方にはベッドの角に鈴をつけ、音で職員が駆け付けられるようにしている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		複数のグループホームを恵愛する法人としての理念はあるが、地域と連携した「あさひ別荘」としての独自の行動指針又は目標が設定されていない。	地域密着型の認知症対応型共同生活介護施設「グループホームあさひ別荘」として、地域社会と密着かつ連携を意識した行動指針を作成する。	日頃からの地域社会との接点を踏まえながら、まだ残る自然環境や住宅地内の地域の人々との交わりを考慮したグループホームとしての指針を作成し、それを実行していく。	3ヶ月
2		入居者様家族の方や職員のありのまま意見、要望等を聞ける「利用者の声」「意見箱」が設置されていない。	「意見箱」を設置することにより、色々な意見や、要望を知り、必要に応じて良い方向へ改善を図る。	「箱」を設置すると同時に、それら意見や要望をホームとしてどのように取り組み改善を図っていくのか、全体システムとしても見直しを検討する。	1ヶ月
3		防災訓練はなされているが、非常時に際しての食料や飲料水等の備蓄がなされていない。	本年3月に旭消防署の支援を得て防災訓練(火災発生時の避難誘導訓練を含む)を行った。次回は秋9月頃を目標に計画する。備蓄については、当面の必要品目、数量を検討し、徐々に確保していく。	8月頃までには、消防署に赴き訓練を計画する。食料等の備蓄については、他のグループホームの状況等を調査するとともに経営母体の理解を得て徐々に進めていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。